別紙Ⅲ

ドライブレコーダー選定基準

社団法人　新潟県トラック協会

	要求事項(仕様、性能、使用条件、等)			
機器	カメラ	画素数	100万画素以上	
	フレームレート		20フレーム／秒以上	
	記録方式		常時録画並びトリガ録画の機能を有すること。	
	録画時間	常時	常時録画をし続けることができること。	
		トリガ	前後合計20秒以上	衝撃、急発進等のトリガ記録を含む一定時間の映像が保存されること。
		手動	機能あり(ON／OFF)あり	手動操作等による一定の時間(20秒以上)の保存が可能であること。
	位置情報(GPS)		あり	GPSにより測位及び記録機能を有すること。
	速度		GPS方式による計測	GPSによる車両速度の計測及び記録機能を有すること。
	音声録音機能		あり	
	記録時間		同梱カードで概ね7時間以上録画できること。 また、オプションカードで最大48時間以上録画可能であること。	
	電源・電圧		DC12V～DC24V	車両運行時、車両から常時電源を確保する構造であること。 (エンジン始動後、自動的に録画がスタートすること) (エンジン停止時に書き込み中のファイルを保存するもの)
	取付方法		電源:エンジンアクセサリーからの配線タイプ　本体:フロントガラス貼付タイプ	
	標準付属品		取扱説明書、電源コード、録画媒体カード、カードリーダー、取り付けホルダー、運行管理解析ソフトCD	
活用	表示機能		画像等の印刷	安全教育資料として活用するために記録された前方映像、収集情報等の出力が可能なこと。
			地図上トリガ表示	事故・危険挙動情報などが地図上に表示可能であること。
	運行管理機能		運転状況等の出力	運転内容(時間、場所、距離、駐車、急加速、急減速、スピードオーバー)等を記録、出力する機能を有すること。
	エコドライブ推進機能		ガイダンスによる運転支援	音声ガイダンスによる「スピード超過」「長時間アイドリング」等を警告する機能があること。
	分析機能		車両挙動分析による運転指導	解析ソフトなどを介して記録媒体に記録されたデータや音声記録等により、危険挙動運転、ヒヤリ・ハット等の原因を分析し、評価できること。 また、車両運転指導への活用が可能であること。
			ヒヤリ・ハット等の原因分析による活用	
サポート他	サポート体制	取付活用	メーカー・販社において使用者に対する取り付け、取扱、活用等に関するサポート(フリーダイヤル、受付窓口等)を行う体制があること。	
		修理	機器の不具合等に対する修理(アフターフォロー)体制があること。 また、アフター専用フリーダイヤルが設けてあること。	
	耐久信頼性品質		全日本トラック協会の助成対象機種を保有しているメーカーの製品であること。 自動車用として使用する環境で十分な耐久信頼性を有し、社内の品質基準において確認試験等が実施された機器であること。	